

## 『充実した2週間でした』 お孫さんとカルガリー留学

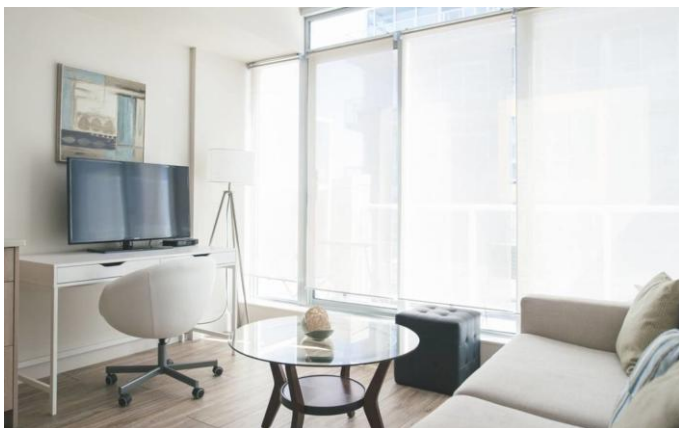


今年の夏休みに（8月3日から2週間）、新潟県にお住まいのプレクラブ会員の方が、カナダ・カルガリーにお孫さん（10歳）と一緒に留学されました。

最初は、お一人で留学をと思われていましたが、お孫さんに『一緒に行ってみるか』とお声をかけたところ、『行ってみたい』という話になりました。

今回、ご祖父様は、語学学校の一般英語コースを受講され、お孫さんは、カルガリー大学主催のサマーキャンプに参加されました。そして、滞在先は、語学学校手配のコンドミニウム選ばれました（ホームステイ滞在も可能です）。

### コンドミニウム滞在の様子



コンドミニウムでの生活は、まず朝6時に起き、朝食後7時半に電車に乗って、お孫さんをサマーキャンプまで送った後、語学学校へ登校。午前中のみ英語レッスンを受け、コンドミニウムに帰って昼食を食べた後、3時半にお孫さんのお迎え。そして、駅前のスーパーに毎日寄って食材を買い、夕食の準備をし（お孫さんがお皿洗いと簡単なお

洗濯を担当）、夕食後はテレビを見たり、キャンプの話の聞いたりして、9時頃消灯というスケジュールだったとのこと。因みに日本から、さとうのご飯、インスタントラーメン、みそ汁の素、梅干等を大量に持っていかれ、時々日本食レストランへ行ったり、ピザをテイクアウトしたりと、食生活はかなり充実していたそうです。

### お孫さんのデイキャンプ



（初日にお友達になった台湾出身の女の子と）

お孫さんは、1日中スポーツを楽しむミニ・スポーツというコースを選ばれました。英語がほとんど話せないながらも、初日に、台湾から来た女の子とお友達になり、その後は、現地カナダの子どもたちともお友達になり、キャンプを楽しまれました。『また来年も来たい』とおっしゃっているとのこと。

ご帰国後の感想（一部）

**大きなトラブルもなく、全体的に満足度は100%に近いと思いました（楽しい、おもしろいサプライズは沢山ありました）。一番の理由は語学学校の日本人の校長先生と妹さんの存在だと思います。何か困った事、知りたい事は学校で聞けました。又急ぐ時は二人とも携帯で連絡がとれました。**

**カナダの人たちはとてもやさしく、親切でフレンドリーでした。またカナダは完全に多民族国家だと実感しました。週末にはバンフ、レイクルイーズ、恐竜博物館等のツアーもあり、あつと言った間でしたが、充実した2週間でもありました。**